

2021. 9. 1 改定

なら100年会館 新型コロナウイルス感染症対策についてのガイドライン

なら100年会館

なら100年会館では、新型コロナウイルス感染予防のため、国、奈良県、奈良市の指針及び、全国公立文化施設協会予防ガイドラインに基づき、次の対策に取り組みます。事前にご確認とご協力をお願い致します。

【新型コロナウイルス感染症対策とお願い】

1. 当館ではホームページや施設のパネル等で新型コロナウイルス感染症予防に関するさまざまなお願い事項や注意事項を掲出しておりますが、貴団体・グループにおかれましてはさまざまな媒体や機会を活用して来場者へのご協力を呼びかけてください。
2. 来場者の氏名・連絡先を収集してください。必要に応じて、来場者リストを保健所等の公的機関へ提出していただく場合があります。
3. 入場者制限（別紙参照してください。）
 - ・ 大声での歓声・声援などが想定されるイベントの入場者数は、収容定員の50%以内（※）としてください。
（※）異なるグループ間では座席を1席空け、同一グループ（5人以内に限る）内では座席間隔を設けなくともかまいません。すなわち、収容率は50%を超える場合があります。
 - ・ 大声での歓声・声援がないことを前提としうるイベントの入場者数は、収容定員の100%以内としてください。

※ ただし、主催者側として大ホールでの催事に関して収容定員100%（1,000人以上）で実施したいと希望する場合に関しては以下の所に問合せ等を行ってください。

奈良県総務部知事公室防災統括室危機対策係

電話 0742-22-1101（内線2276. 2288）

奈良県として、大規模イベント等の開催に伴い奈良県内への事前相談についての窓口が設置されています。奈良県HPの「大規模イベント等の県への事前相談」をもとに資料を提出してください。また同じものを当館へも提出してください。最終的にはなら100年

会館が判断致します。なお、中ホール、小ホールに関しては当館と協議させていただき判断させていただきます。

4. 客席とステージの距離

演奏者と客席に2m以上間隔をとれるようにステージと客席を使用してください。

5. 入場時間、休憩時間等の設定

事前に余裕を持った入場時間を設定し、券種やゾーンごとの時間差での入場、開場時間の前倒し等の工夫、また券種やゾーンごとの時間差での退場等の工夫を行ってください。また、事前に余裕を持った休憩時間を設定し、トイレ等の混雑緩和をお願いします。トイレを待つお客様には、お示ししている待機線に沿って並んでいただくようお願いいたします。

6. 入場受付、配布物

スタッフがチケットを切らずに目視で確認し入場者数をカウントする方法もごさいます。チケットの半券をお客様ご自身に切っていただき回収することもできますが、その場合は早めの開場時間（開演の45分～60分前程度）の設定をお願いします。あらかじめご相談ください。また、パンフレット、チラシ、アンケート等は極力手渡しによる配布は避けるように積置きする等の工夫をお願いします。プレゼント等の差し入れは控えるようお願いしてください。

7. サイン会等

サイン会、楽屋口等での面会・入待ち・出待ちについては控えてください。

8. 物販等

- ・ パンフレット等の物販を行う場合、購入者には最低1m（できるだけ2mを目安に）の間隔を空けてください。また、物販に携わる方は、マスクの着用と手指消毒もしくは石けんによる手洗いを徹底してください。多くの人が触れるようなサンプル品、見本品は取扱わないでください。
- ・ 現金の取扱いは避けてください。オンライン販売、キャッシュレス決済を推奨します。

9. 換気

各施設は、空調を稼働させることにより「換気」を行っておりますが、換気機能の充実を図るため、開演中は、1時間に5分程度を目安に、ドアを開けるなど換気を行ってください。ホール後方の扉は常時開放します。尚、演目により難しい場合はご相談ください。

10. ウォータークーラーの使用停止

ウォータークーラーのご利用を当面の間、停止いたします。水分補給が必要なお客様はあらかじめご自身で飲料水をご持参してください。

11. 消毒液等について

エントランス、会館事務室入口、警備室前にアルコール消毒液を設置しておりますが、主催者様でも受付付近、楽屋、舞台袖付近に設置して、「手指消毒」の徹底を図ってください。

12. ホールスタッフについて

コンサートを運営する全スタッフは事前に検温を実施、マスク着用のうえ、配置につくものとし、発熱等の症状があるときは職務につくことはできません。

13. 舞台等、主に裏方スタッフおよび出演者へのお願い

- ・ スタッフはマスクの着用をお願いします。また出演者も表現上困難な場合を除き、原則として、マスク着用を求めるとともに、出演者間で十分な間隔をとるようにしてください。また、公演前後の手指消毒を徹底してください。
- ・ 各自検温を行うこととし、37.5℃以上の発熱がある場合、風邪の症状がある場合には来館しないでください。
- ・ 公演の運営に必要な最小限度の人数としてください。仕込み・リハーサル・撤去等において、十分な時間を設定し、密な空間の防止に努めていただく等、感染防止措置を講ずるようにしてください。
- ・ 楽屋及び各控室では、着替え時間以外は扉を開放する等で、感染防止措置を講ずるようにしてください。
- ・ 食事は楽屋及び各控室でお願いします。他の方と対面にならないように椅子、机を配置してください。また、楽屋及び各控室のゴミ箱は撤去します。発生したゴミ等は主催者様がお持ち帰りください。
- ・ 機材や備品、用具等の取扱者を選定し、不特定者の共有を制限するようにしてください。
- ・ 舞台上で同一マイクを、やむを得ず複数人が使用する場合、当館スタッフが都度除菌等を行います。
- ・ 参加者全員の氏名および緊急連絡先（グループで参加している場合には代表者氏名連絡先と人数のみ）を把握し、名簿を作成してください。必要に応じて、保健所等の公共機関へ提供され得ることを利用者へ事前に周知してください。
- ・ 演奏、演技、舞踊等で、大声の発声、声楽を含む歌唱・合唱、呼気が激しくなるような運動が想定される利用の場合は、利用者同士の間隔を十分確保してください。
- ・ 向かい合っただけの大声での発声、歌唱は原則不可としますが、やむを得ない場合はマスクに加えフェイスシールド等の対策を講じてください。
- ・ 来場者と接触するような演出は（声援を惹起する、来場者をステージに上げる、ハ

イタッチをする等) 行わないでください。

- ・ 管楽器を使用する場合は唾受けを用意してください。使用した唾受けはお持ち帰りください。
- ・ ステージ上の配置は、演奏者同士の適切な距離を確保する等の工夫をお願いします。声楽の場合は演奏者との間隔についてさらに厳しい制限がかかります。あらかじめご相談ください。

14. ピアノの使用について

ピアノの使用前、使用後は必ず手洗いをお願いします。ただし、ピアノの鍵盤は手洗いで濡れた手やアルコール等消毒液が着いた手で演奏を行わないよう、よく手を乾かしてください。

15. 楽屋に関して

- ・ 可能な限り、出演等に必要な最小限度の人数としてください。
- ・ マスク、手指消毒等の徹底、また、楽屋の扉の開放等、密な空間の防止に努めていただき、感染防止措置を講ずるようにしてください。
- ・ 各自検温を行うこととし、37.5℃以上の発熱がある場合、風邪の症状がある場合には来館しないでください。

※本ガイドラインの有効期限について

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染症対策や感染状況が変わらない場合、継続するものとする。